

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 17 日

評価対象事業		評価者	環境保全課	牧野 直樹
環境-18	実施事業	海岸清掃事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 環境保全課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	海浜の環境保全

1 事業の目的

対象	市民等
意図	快適な生活環境の実現のため。
効果	散乱ごみのない良好な海岸の形成が図られる。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

・公益財団法人かながわ海岸美化財団への清掃事業費負担金を支出した。
-----------------------------------

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)決算		02年度(2020年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	176,608人	83,058世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	21,615	12,373	当初予算(千円)	15,154		
	国県支出金	11,684	8,211	国県支出金	10,386		
	地方債			地方債			
	その他			その他			
	一般財源	9,931	4,162	一般財源	4,768		
	人員配置数	1.0	1.0	人員配置数	1.0		
事業経費運営	人件費(千円)	7,712	8,160	人件費(千円)	7,991		
	総事業費(千円)	29,327	20,533	総事業費(千円)	23,145		
	市民1人当りの経費(円)	166	116	市民1人当りの経費(円)	131		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△. 負担未導入
		△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○. 協働実施済
		協働実施済の場合のパートナー 市民ボランティア

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	散乱ごみのない良好な海岸を保つためにも、定期的な清掃を継続していくことは重要であり、現状の事業規模の維持継続は必要である。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	海流の流れなどにより打ち上げられる海草等が近隣市に比べ多くあるため、その対応に苦慮している。海岸は市民の憩いの場としても利用されていることから、継続的に清掃を実施して、海岸をきれいな状態に保っていく必要がある。
-------------------	---

令和元年度(2019年度)事業実施にあつての課題(前年度未解決の事項を含む)	・引き続き、散乱ごみ等のない良好な海岸の環境が保全されるよう清掃業務を実施していく。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	・観光客等、利用者が多く集まる海岸を中心に、かながわ海岸美化財団や市民、活動団体とともにごみの集団清掃及びごみ散乱防止の啓発活動を実施した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	・海岸の漂着ごみについては、広域的な課題であることから、公益財団法人かながわ海岸美化財団や神奈川県、その他市町や市民、市民活動団体等と連携し取り組んでいく必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	ボランティアによる清掃活動回数					単位	回	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
市民主体型の漂着ゴミ清掃活動実施回数が、市民意識の高まりと海岸保全状況を測ることができるため	目標値	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0			
	実績値	3.0	3.0	2.0	3.0	3.0	2.0			
	達成率	100.0%	100.0%	66.7%	100.0%	100.0%	66.7%			

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	海岸清掃については、ボランティアによる清掃イベントを海岸美化の周知啓発事業として継続的に実施できている。									
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--